

交流によるまちづくりを推進 ～国内交流と国際交流～

■問い合わせ先 市民協働推進課 ☎(32)8887

市では、まちづくりの基本的なルールを定めた自治基本条例に基づき、国内交流と国際交流によるまちづくりを推進しています。

自治基本条例第 36 条・・・歴史や文化を共有する国内の市町村と交流し、歴史や文化を大切にするまちづくりを推進する

自治基本条例第 37 条・・・国際交流の文化を大切にし、市民の国際交流活動の支援に努める

高松市との国内交流

交流のきっかけ

下野市が発足する前の平成13年当時、栃木県と香川県に全国で2つだけ「国分寺」を冠する町があった縁で、交流が始まりました。

市町村合併とその後の交流

両国分寺町は、偶然にも同じ平成18年1月10日、それぞれ下野市と高松市として合併しました。合併後も毎年、小学生を中心とした交流が続き、平成25年6月には、両市の間で歴史文化交流協定と災害時相互支援協定が締結されました。

小学生交流

夏休みの3日間、小学6年生16名が、中村精一国内交流協会事務局長を団長とする親善交流団として、高松市に派遣されました。

同市の小学生との発表交流、讃岐国分寺跡資料館見学、讃岐国分寺交流協会による地引網体験や海水浴など、讃岐国分寺とその周辺の歴史風土への理解を深めました。



天平衣装で、タイムスリップ！



両市の児童が力を合わせた地引網

また、高松市の讃岐国分寺小学生交流団20名が下野市にお越しになりました。

一行には、市内の農産物をふんだんに使ったカレーやかんぴょうの卵とじなどを味わってもらいました。その後、両市の子どもたちは、ふるさとかるた取りなどで交流を深めました。史跡や道の駅にも一行をご案内し、本市の魅力にふれていただきました。

子どもたちの友情の輪が広がり、両市の絆をさらに深めることができた交流団相互派遣でした。

団員の感想

- ☆地引網で採った魚は新鮮でとても美味しかったです！
- ★同じ日本でも、言い方や発音が違うことを学びました。
- ☆高松市の歴史や文化にふれて、下野市の歴史や文化を再確認できました。
- ★初めての人と友達になる方法や協力することの大切さを学びました。
- ☆たくさんの方の前で話す力が付きました。
- ★初めての経験で新しい友達ができ、人生観が変わりました。
- ☆一生の思い出になりました。



ふるさとかるた取りでの交流